

取得できる資格・免許等の種類

各学科を卒業すると次の免許等が取得できます。

(平成31年4月1日現在)

学 部	学 科	取得できる免許等	区分※1
人間文化学部	国際文化学科	中学校教諭一種免許状（英語） 中学校教諭一種免許状（国語） 中学校教諭一種免許状（社会） 高等学校教諭一種免許状（英語） 高等学校教諭一種免許状（国語） 高等学校教諭一種免許状（地理歴史） 高等学校教諭一種免許状（公民） 学芸員資格 日本語教員養成課程修了証書	選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択
	健康科学科	栄養士免許 管理栄養士国家試験受験資格 栄養教諭一種免許状 食品衛生管理者 食品衛生監視員	選択 選択 選択 選択
経営情報学部	経営学科	高等学校教諭一種免許状（公民）	選択 ※2
	経営情報学科	高等学校教諭一種免許状（情報）	選択
生命環境学部	生命科学科	中学校教諭一種免許状（理科） 高等学校教諭一種免許状（理科） 食品衛生管理者 食品衛生監視員	選択 選択 選択 選択
	環境科学科	中学校教諭一種免許状（理科） 高等学校教諭一種免許状（理科） 食品衛生管理者 食品衛生監視員	選択 選択 選択 選択
保健福祉学部	看護学科	看護師国家試験受験資格 保健師国家試験受験資格	選択
	理学療法学科	理学療法士国家試験受験資格	
	作業療法学科	作業療法士国家試験受験資格	
	コミュニケーション 障害学科	言語聴覚士国家試験受験資格	
	人間福祉学科	社会福祉士国家試験受験資格 精神保健福祉士国家試験受験資格	選択

※1 区分の欄に選択とあるのは、各学科の教育課程の卒業必要単位数を修得するだけでその免許等が取得できるものではなく、各学科の教育課程や教職課程からそれぞれの免許等に必要科目を各自選択しその単位を修得することにより、当該免許等が取得できることを示す。

※2 経営情報学部経営学科の高等学校教諭一種免許状（公民）については、平成29年度入学生までが免許取得の対象です。平成30年度以降入学生については、取得できません。

(2) 教育職員免許

ア 教育職員免許状の基礎資格及び最低修得単位数 教育職員免許法に定める最低修得単位数

平成 31 年度入学生用

免許状の種類	基礎資格	教科及び教科の指導法に関する科目 ／ 栄養に係る科目 教育に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	計	日本国憲法, 体育, 外国語コミュニケーション及び情報機器の操作の科目	合計
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	28	27	4	59	8	67
高等学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	24	23	12	59	8	67
栄養教諭一種免許状	学士の学位を有し, かつ管理栄養士養成施設の課程を修了し, 栄養士の免許を受けていること。	4	18		22	8	30

平成 30 年度以前入学生用

免許状の種類	基礎資格	教科に関する科目 ／ 栄養に係る科目 教育に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	計	日本国憲法, 体育, 外国語コミュニケーション及び情報機器の操作の科目	合計
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	20	31	8	59	8	67
高等学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	20	23	16	59	8	67
栄養教諭一種免許状	学士の学位を有し, かつ管理栄養士養成施設の課程を修了し, 栄養士の免許を受けていること。	4	18		22	8	30

イー1 本学の課程において修得する必要がある教科及び教科の指導法、教育の基礎的理解、大学が独自に設定する科目等の単位数

○平成31年度入学生用

学部	学科	免許状の種類	教科	教科及び教科の指導に関する科目、教育の基礎的理解に関する科目及び大学が独自に設定する科目の法定上の最低修得単位数	左記に対応する本学の規定単位数					日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション及び情報機器の操作の科目	合計	基礎資格
					教科及び教科の指導に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目等	大学が独自に設定する科目	選択科目 (a, b 又は cから 選択)	計			
					a	b	c	d	e (=a+b+c+d)	f	g (=e+f)	
人間文化	国際文化	中学一種	英語	5 9	2 8	3 0	2		6 0	8	6 8	※1
			国語	5 9	2 8	3 0	2		6 0	8	6 8	
			社会	5 9	2 8	3 0	2		6 0	8	6 8	
	国際文化	高校一種	英語	5 9	2 4	2 6		9	5 9	8	6 7	
			国語	5 9	2 4	2 6		9	5 9	8	6 7	
			地理歴史	5 9	2 4	2 6		9	5 9	8	6 7	
			公民	5 9	2 4	2 6		9	5 9	8	6 7	
健康科学	栄養一種	栄養	2 2	4	2 7			3 1	8	3 9	※2	
経営情報	経営情報	高校一種	情報	5 9	2 5	2 6		8	5 9	8	6 7	※1
生命環境	生命科学	中学一種	理科	5 9	3 6	3 0	2		6 8	8	7 6	※1
		高校一種	理科	5 9	3 4	2 6			6 0	8	6 8	
	環境科学	中学一種	理科	5 9	2 8	3 0	2		6 0	8	6 8	
		高校一種	理科	5 9	2 4	2 6		9	5 9	8	6 7	

※1 学士の学位を有すること。

※2 学士の学位を有し、かつ管理栄養士養成施設の課程を修了し、栄養士の免許を受けていること。

イー2 本学の課程において修得する必要がある教科、教職及び教科又は教職に関する科目等の単位数

○平成25～30年度入学生用

学部	学科	免許状の種類	教科	教科、教職及び教科又は教職に関する科目の法定上の最低修得単位数	左記に対応する本学の規定単位数					日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション及び情報機器の操作の科目	合計 g (=e+f)	基礎資格
					教科に関する科目 ／ 栄養に係る教育に関する科目 a	教職に関する科目 b	教科又は教職に関する科目 c	選択科目 (a, b 又は cから 選択) d	計 e (=a+b+c+d)			
人間文化	国際文化	中学一種	英語	5.9	2.0	3.1	2	6	5.9	8	6.7	※1
			国語	5.9	2.0	3.1	2	6	5.9	8	6.7	
			社会	5.9	2.0	3.1	2	6	5.9	8	6.7	
		高校一種	英語	5.9	2.0	2.5		1.4	5.9	8	6.7	
			国語	5.9	2.0	2.5		1.4	5.9	8	6.7	
			地理歴史	5.9	2.0	2.5		1.4	5.9	8	6.7	
	公民	5.9	2.0	2.5		1.4	5.9	8	6.7			
健康科学	栄養一種	栄養	2.2	4	2.4			2.8	8	3.6	※2	
経営情報	経営	高校一種	公民	5.9	2.0	2.5		1.4	5.9	8	6.7	※1
	経営情報	高校一種	情報	5.9	2.1	2.5		1.3	5.9	8	6.7	
生命環境	生命科学	中学一種	理科	5.9	2.0	3.1	2	6	5.9	8	6.7	
		高校一種	理科	5.9	2.0	2.5		1.4	5.9	8	6.7	
	環境科学	中学一種	理科	5.9	2.0	3.1	2	6	5.9	8	6.7	
		高校一種	理科	5.9	2.0	2.5		1.4	5.9	8	6.7	

※1 学士の学位を有すること。

※2 学士の学位を有し、かつ管理栄養士養成施設の課程を修了し、栄養士の免許を受けていること。

※3 経営情報学部経営学科の高等学校教諭一種免許状（公民）については、平成29年度入学生までが免許取得の対象です。平成30年度以降入学生については、取得できません。

ウ 教職課程の履修について

教育職員免許状（以下、教員免許）を取得するためには、①大学を卒業して学士の学位を得ることと、②法令に定められた単位を修得することが必要である。中学校・高等学校の学校別、各教科別の教員免許または栄養教諭の教員免許に必要な単位を修得すれば、それぞれの教員免許が取得できる。

教員として就職するためには、教員免許を取得した上で（在学生は当該年度の卒業を前提に「免許取得見込み」で受験可能）、就職試験にあたる教員採用試験に合格しなければならない。公立学校の採用試験、私立学校の適性検査などがある。

不明な点などは必ず、教学課、各学科の教職委員、教職課程担当教員に相談・確認すること。

エ 教職課程の単位の修得方法について

(ア) 修得する必要がある単位数について

- ① a, b, c の科目ごとに示す単位数を修得することに加え、更に d に示す単位数以上の単位を a, b, c の科目群の中から自由に選択して修得し、a～d の修得単位数の計が、e に示す単位数以上となるように単位を修得することが必要となる。
- ② この外に日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション及び情報機器の操作の科目について、f に示す単位を修得することが必要となる。

③ なお、これら a, b, c, f の授業科目の単位は、ケのそれぞれの科目対応表に従って充当することになるので、a, b, c の授業科目の単位を選択科目 d の単位とするほかは、対応する科目区分以外の科目の単位として充当することは認められない。

(イ) 道徳教育論について

平成 31 年度入学生においては、授業科目「道徳教育論」の単位は、中学一種、栄養一種では教育の基礎的理解に関する科目等 b の必修単位となる。高校一種では、大学が独自に設定する科目 c 又は選択科目 d の単位となる。平成 30 年度以前の入学生においては、教職に関する科目 b の必修単位となる。高校一種では、教科または教職に関する科目 c 又は選択科目 d の単位となる。

(ウ) 介護等体験について

平成 31 年度入学生における中学一種の大学が独自に設定する科目 c の 2 単位、平成 30 年度以前の入学生における中学一種の教科又は教職に関する科目 c の 2 単位は、授業科目「介護等体験」の 2 単位である。

(エ) 教職に関する科目のうち 4 年次配当の教育実習履修要件について

4 年次配当の教育実践に関する科目（中学一種は、教育実習指導、教育実習 I 及び教育実習 II、教職実践演習（中・高）。高校一種は教育実習指導及び教育実習 I、教職実践演習（中・高）。栄養一種は、教育実習指導（栄養教諭）、教育実習（栄養教諭）、教職実践演習（栄養教諭）。）を履修するためには、教員免許に必要な履修科目のうち 4 年次配当科目を除く 1 年次から 3 年次配当の科目での必要単位を 3 年次終了までにすべて修得しておくことが必要となる。原則として、教職実践演習は、教育実習を終了した後で、同じ年度の後期に履修するものとする。

具体的には、

① 中学一種の場合は、e に示す単位数から 4 年次配当の教育実習関係及び教職実践演習の 7 単位を減じた単位数以上の単位を、高校一種の場合は、e に示す単位数から同じく教育実習関係及び教職実践演習の 5 単位を減じた単位数以上の単位を、それぞれ修得しておくことが必要となる。また、科目ごとにも、a, c, d に示すそれぞれの単位数以上の単位を修得しておくとともに、b に示す単位数から、中学一種の場合は教育実習関係及び教職実践演習の 7 単位を減じた単位数以上の単位を、高校一種の場合は同じく教育実習関係及び教職実践演習の 5 単位を減じた単位数以上の単位を、それぞれ修得しておくことが必要となる。栄養一種についても、同様の考え方となる。

② 併せて、いずれの免許についても、これらの科目の単位以外に、全学共通教育科目から f の日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション、情報機器の操作の科目（計 8 単位）をすべて修得しておくことが必要となる。

(オ) 複数教科の教員免許取得及び他学部他学科の教員免許取得について

教員免許は、1 つの教科（社会、地理歴史、公民は 1 つの教科とみなす。）の免許取得が原則だが、各教科の免許に必要な単位を修得すれば、複数教科の免許取得や栄養一種を除く他学部他学科の免許取得も可能となる。ただし、必ず複数教科の免許が取得できることを保証するものではない。免許に必要な履修科目で他学部他学科の科目を履修する場合は、教学課での相談が必要となる。（学生便覧の II 学部履修案内 4 履修登録（1）一般的注意事項のケを参照）

複数の教員免許を取得する場合は、1 つの免許について上記の教育実習履修要件を満たしていれば、教育実習に参加できる。

オ 教職課程の履修に関する注意事項について

- (ア) 必要な単位の修得以外にもできるだけ幅広く履修して、教育実習において授業をするのに必要な、また教師となるのに必要な力をつける。
- (イ) 中学校・高等学校両方の免許を取得できる場合は、両方の免許を一緒に取得することが望ましい。
- (ウ) 教育実習の受け入れは、一般的に、大変きびしい。教育実習期間中に、民間企業、公務員などへの就職活動及び面接試験等を理由とする実習の欠席・遅刻・早退などはできない。
- (エ) 教育実習履修要件を満たしていても、受け入れ校の事情によっては、教育実習ができないこともありうる。例えば情報科免許のみで教育実習の受け入れ校を確保するのは困難なため、他教科の免許も一緒に取得することが望ましい。
- (オ) 実習校への依頼などの手続きは、必ず、大学が行う教育実習オリエンテーションなどでの指示によって行う。
- (カ) 「学生教育研究災害傷害保険」(学研災)及び「付帯賠償責任保険」(付帯賠償)に必ず加入しておく。教育実習等に参加するために必要となる。
- (キ) 本学が提供する教育ボランティア、学校参観などの学校体験活動に積極的に参加する。
- (ク) 本学が実施する教員採用試験に関する情報の提供や対策講座を積極的に活用する。
- (ケ) 教員採用試験は、臨時採用教員、非常勤講師などとして教職に就きながら再挑戦することもできる。
- (コ) 教員免許更新制により10年ごとの更新が必要となる。ただし、更新しなかった場合でも、一時的に効力が停止されるだけで、必要な講習を受ければ効力は回復される。なお、原則として、更新時に正規教員または非正規教員であることが更新手続きのための条件である。
- (サ) 本学で取得できない免許(幼稚園、小学校など)あるいは在学中に取得できなかった教員免許は、大学での科目等履修生としての履修及び大学通信教育での履修などによる単位の修得並びに文部科学省の教員資格認定試験(幼稚園、小学校及び特別支援学校)での合格により取得が可能である。

カ 介護等体験について

中学校教員免許を取得する場合は「介護等体験」(2単位)が必修となる。3年次に、特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間の体験を行う。詳しくは別に授業などで説明する。

キ 教育実習について

教員免許を取得する場合は「教育実習」(事前・事後の指導も含めて中学校免許は5単位、高等学校免許は3単位、栄養教諭は2単位)が必修となる。4年次に10日間または15日間(栄養教諭は5日間)の実習を行う。教育実習校への依頼等については、2年次以降に、別にオリエンテーションなどで説明する。

ク 履修カルテについて

教職実践演習を履修する前提として、自分のこれまでの教職課程の履修履歴を把握するための「履修カルテ」を作成しなければならない。履修カルテは、「履修状況シート」と「自己評価シート」から成る。履修カルテの作成方法、提出時期などは、別に授業などで説明する。

ケ 本学の課程における科目対応表

平成 31 年度より、免許法施行規則に定められている科目区分などが変更されたため、平成 31 年度入学生用と、それ以前の入学生用に分けて記載している。各自、自分の該当する年度の欄を参照のこと。

<平成 31 年度入学生用>

(ア) 人間文化学部

a 国際文化学科

○ 本学の課程における教科及び教科の指導法に関する科目対応表

中学校英語，高等学校英語（平成 31 年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目			備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次 前後期別	
英語学	○英語文化論（英語学概論）	2	2 後期	
	英語文化論基礎演習	2	3 前期	
	英語文化論演習	2	3 後期	
	英語音声学特論	2	2 前期	
	英文法	2	3 後期	
英語文学	○英米文学論	2	2 後期	
	英米文学論基礎演習	2	3 前期	
	英米文学論演習	2	3 後期	
	英米文学論特論A	2	2 前期	
	英米文学論特論B	2	2 後期	
英語コミュニケーション	○英語コミュニケーション	2	3 前期	
	メディア・イングリッシュ	1	2 後期	
	英語表現論	2	2 後期	
	英語表現論基礎演習	2	3 前期	
	英語表現論演習	2	3 後期	
異文化理解	米国社会文化論	2	2 前期	
	米国社会文化論基礎演習	2	3 前期	
	米国社会文化論演習	2	3 後期	
	○英米地域論	2	2 後期	
	英米地域論基礎演習	2	3 前期	
	英米地域論演習	2	3 後期	
	英米地域論特論	2	2 前期	
	英国社会文化論	2	2 後期	
	英国社会文化論基礎演習	2	3 前期	
	英国社会文化論演習	2	3 後期	
	英国社会文化論特論	2	2 前期	
	英米文化史論	2	2 前期	
	英米文化史論基礎演習	2	3 前期	
	英米文化史論演習	2	3 後期	
英米文化史論特論	2	2 後期		
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	英語科教育法Ⅰ	2	2 後期	
	英語科教育法Ⅱ	2	3 前期	
	英語科教育法Ⅲ	2	3 後期	
	英語科教育法Ⅳ	2	3 後期	

※ 中学校免許では計 28 単位以上を、高等学校免許では計 24 単位以上を修得すること。
 ※ 教科の指導法は、中学校免許では、英語科教育法Ⅰ～Ⅳが必修、高等学校免許では英語科教育法Ⅰ，Ⅱが必修

・中学校国語・高等学校国語（平成31年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	○日本語表現 中日対照言語学	2 2	1~4 2	前期 前期	
	○日本語文化論（日本語学） 日本語文化論基礎演習	2 2	2 3	後期 前期	
	日本語文化論演習 日本語文化論特論A	2 2	3 2	後期 前期	
	○日本語文化論特論B（日本語音声学）	2	2	後期	
国文学 (国文学史を含む。)	○日本文学論（国文学） 日本文学論基礎演習	2 2	2 3	後期 前期	日本文学論特論Bに国文学史の内容を含む。
	日本文学論演習 日本文学論特論A	2 2	3 2	後期 前期	
	○日本文学論特論B 日本語表象論	2 2	2 2	前期 前期	
	日本語表象論基礎演習 日本語表象論演習	2 2	3 3	前期 後期	
	日本語表象論特論	2	2	後期	
漢文学	○東アジア文学論（中国文学） 東アジア文学論基礎演習	2 2	2 3	前期 前期	
	東アジア文学論演習 日中比較文学論	2 2	3 2	後期 後期	
書道（書写を中心とする。）	○書道・書写	2	2	前期	中学校教免のみ必修
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅱ	2 2	2 3	後期 前期	
	国語科教育法Ⅲ 国語科教育法Ⅳ	2 2	3 3	前期 後期	

※ 中学校免許では計28単位以上を，高等学校免許では計24単位以上を修得すること。

※ 書道（書写を中心とする。）は，中学一種のみ対象となる科目区分であり，書道・書写の単位は，中学一種では教科に関する科目の必修単位となるが，高校一種では教科に関する科目の単位にも選択科目の単位にもならない。

※ 教科の指導法は，中学免許では，国語科教育法Ⅰ～Ⅳが必修，高校免許では国語科教育法Ⅰ，Ⅱが必修

・中学校社会（平成31年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
日本史・外国史	国際関係史論	2	1	後期	
	○米国史論（西洋史）	2	2	後期	
	米国史論基礎演習	2	3	前期	
	米国史論演習	2	3	後期	
	米国史論特論	2	2	前期	
	英国史論特論	2	2	前期	
	○東アジア地域史論（東洋史）	2	2	後期	
	東アジア地域史論基礎演習	2	3	前期	
	東アジア地域史論演習	2	3	後期	
	東アジア地域史論特論A	2	2	前期	
	東アジア地域史論特論B	2	2	後期	
	○日本地域史論（日本史）	2	2	前期	
	日本地域史論基礎演習	2	3	前期	
	日本地域史論演習	2	3	後期	
	日本地域史論特論	2	2	後期	
	日本文化史論（日本文化史）	2	2	前期	
	日本文化史論基礎演習	2	3	前期	
日本文化史論演習	2	3	後期		
日本文化史論特論	2	2	後期		
地理学（地誌を含む。）	○地誌学	2	1	前期	
	○人文地理学	2	1	後期	
	○自然地理学	2	1	前期	
	日本地域論	2	2	後期	
	日本地域論基礎演習	2	3	前期	
	日本地域論演習	2	3	後期	
	日本地域論特論	2	2	前期	
「法学、政治学」	法学概論	2	2	後期	法学概論又は政治学のいずれか選択必修
	政治学	2	1	後期	
	国際法	2	2	後期	
	国際政治論	2	2	後期	
「社会学、経済学」	経済学概論	2	2	後期	経済学概論又は基礎社会学のいずれか選択必修
	基礎社会学	2	1	後期	
	国際経済論	2	1	前期	
	比較社会学	2	1	前期	
	東アジア社会文化論	2	2	前期	
	東アジア社会文化論基礎演習	2	3	前期	
	東アジア社会文化論演習	2	3	後期	
	東アジア社会文化論特論	2	2	後期	
	東アジア社会論	2	2	前期	
	東アジア社会論基礎演習	2	3	前期	
	東アジア社会論演習	2	3	後期	
東アジア社会論特論	2	2	後期		
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学	2	1~4	前期	哲学、倫理学又は宗教学のいずれか選択必修
	倫理学	2	1~4	後期	
	宗教学	2	1	後期	
	思想文化論	2	2	前期	
	思想文化論基礎演習	2	3	前期	
	思想文化論演習	2	3	後期	
	思想文化論特論	2	2	後期	
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	2	2	後期	
	社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	2	3	前期	
	社会科・公民科教育法Ⅰ	2	3	前期	
	社会科・公民科教育法Ⅱ	2	3	後期	

※ 計28単位以上を修得すること。

※ 教科の指導法は、社会科・地理歴史科教育法Ⅰ、Ⅱ，社会科・公民科教育法Ⅰ，Ⅱが必修。

・高等学校地理歴史（平成31年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
日本史	○日本地域史論（日本史）	2	2	前期	
	日本地域史論基礎演習	2	3	前期	
	日本地域史論演習	2	3	後期	
	日本地域史論特論	2	2	後期	
	日本文化史論（日本文化史）	2	2	前期	
	日本文化史論基礎演習	2	3	前期	
	日本文化史論演習	2	3	後期	
	日本文化史論特論	2	2	後期	
外国史	国際関係史論	2	1	後期	
	○米国史論（西洋史）	2	2	後期	
	米国史論基礎演習	2	3	前期	
	米国史論演習	2	3	後期	
	米国史論特論	2	2	前期	
	英国史論特論	2	2	前期	
	○東アジア地域史論（東洋史）	2	2	後期	
	東アジア地域史論基礎演習	2	3	前期	
	東アジア地域史論演習	2	3	後期	
	東アジア地域史論特論A	2	2	前期	
	東アジア地域史論特論B	2	2	後期	
	人文地理学・自然地理学	○人文地理学	2	1	
○自然地理学		2	1	前期	
日本地域論特論		2	2	前期	
地誌	○地誌学	2	1	前期	
	日本地域論	2	2	後期	
	日本地域論基礎演習	2	3	前期	
	日本地域論演習	2	3	後期	
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	2	2	後期	
	社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	2	3	前期	

※ 計24単位以上を修得すること。

※ 教科の指導法は、社会科・地理歴史科教育法Ⅰ、Ⅱが必修。

・高等学校公民（平成31年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法学概論	2	2	後期	「法学概論及び国際法」又は「政治学及び国際政治論」のいずれか選択必修
	政治学	2	1	後期	
	国際法	2	2	後期	
	国際政治論	2	2	後期	
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	経済学概論	2	2	後期	基礎社会学又は「経済学概論及び国際経済論」のいずれか選択必修
	基礎社会学	2	1	後期	
	国際経済論	2	1	前期	
	比較社会学	2	1	前期	
	東アジア社会文化論	2	2	前期	
	東アジア社会文化論基礎演習	2	3	前期	
	東アジア社会文化論演習	2	3	後期	
	東アジア社会文化論特論	2	2	後期	
	東アジア社会学	2	2	前期	
	東アジア社会学基礎演習	2	3	前期	
	東アジア社会学演習	2	3	後期	
	東アジア社会学特論	2	2	後期	
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	哲学	2	1～4	前期	哲学，倫理学，宗教学又は心理学のいずれか選択必修
	倫理学	2	1～4	後期	
	心理学	2	1～4	前期	
	宗教学	2	1	後期	
	思想文化論	2	2	前期	
	思想文化論基礎演習	2	3	前期	
	思想文化論演習	2	3	後期	
	思想文化論特論	2	2	後期	
	人間心理論	2	2	後期	
	人間心理論基礎演習	2	3	前期	
	人間心理論演習	2	3	後期	
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	社会科・公民科教育法Ⅰ	2	3	前期	
	社会科・公民科教育法Ⅱ	2	3	後期	

※ 計24単位以上を修得すること。

※ 教科の指導法は、社会科・公民科教育法Ⅰ、Ⅱが必修。

○ 本学の課程における教育の基礎的理解に関する科目等対応表

・平成31年度入学生用

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目				備考
科目	各科目に含める必要事項	授業科目 ○は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
教育の基礎的理解に関する科目	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	○教職入門	2	1	後期	
	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育学概論	2	1	後期	
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○教育心理学	2	2	前期	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	○教育社会学	2	2	前期	
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	○教育課程論	2	2	前期	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○特別支援教育	1	3	前期	
	・道徳の理論及び指導法	○道徳教育論	2	3	前期	中学校教免のみ対象
	・総合的な学習の時間の指導法	○総合的な学習の時間の指導法	2	3	前期	
	・特別活動の指導法	○特別活動論	2	3	前期	
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教育方法学	2	3	後期	
	・生徒指導の理論及び方法	○生徒・進路指導論	2	2	後期	
教育実践に関する科目	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	○教育相談	2	3	前期	
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	○教育実習指導	1	4	前期	
	・教育実習	○教育実習Ⅰ	2	4	前期	
	・教職実践演習	○教育実習Ⅱ	2	4	前期	中学校教免のみ必修
		○教職実践演習（中・高）	2	4	後期	

※ 教育実践に関する科目（教育実習指導、教育実習Ⅰ、教育実習Ⅱ、教職実践演習）には履修要件が定められている。要件については、13免許等（2）教育職員免許エ（エ）を参照すること。

○ 本学の課程における大学が独自に設定する科目対応表

・平成31年度入学生用

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
大学が独自に設定する科目	○介護等体験	2	3	通年	中学校教免のみ必修
	人権論	2	2~4	後期	
	道徳教育論	2	3	前期	

※ 道徳教育論は、高校一種についてのみ対象の授業科目となる。

○ 本学の課程における日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション及び情報機器の操作の科目対応表

・平成31年度入学生用

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
日本国憲法	○日本国憲法	2	1~4	前期	
体育	○保健体育理論	2	1	前期	
外国語コミュニケーション	英語コミュニケーション	2	3	前期	英語、中国語及び韓国・朝鮮語から1カ国語2単位以上を選択必修
	英語Ⅰ (Global Communication Ⅰ)	1	1	前期	
	英語Ⅲ (Global Communication Ⅱ)	1	1	後期	
	中国語Ⅰ	1	1	前期	
	中国語Ⅲ	1	1	後期	
	韓国・朝鮮語Ⅰ	1	1	前期	
韓国・朝鮮語Ⅲ	1	1	後期		
情報機器の操作	○情報リテラシー	2	1	前期	

b 健康科学科

- 本学の課程における栄養に係る教育に関する科目対応表
 - ・ 栄養（平成31年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
・ 栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 ・ 幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 ・ 食生活に関する歴史的及び文化的事項	○ 学校栄養教育論Ⅰ	2	3	前期	
・ 食に関する指導の方法に関する事項	○ 学校栄養教育論Ⅱ	2	3	後期	

- 本学の課程における教育の基礎的理解等に関する科目対応表
 - ・ 栄養（平成31年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目				備考
科目	各科目に含める必要事項	授業科目 ○は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
教育の基礎的理解に関する科目	・ 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	○教職入門	2	1	後期	
	・ 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育学概論	2	1	後期	
	・ 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○教育心理学	2	2	前期	
	・ 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	○教育社会学	2	2	前期	
	・ 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	○教育課程論	2	2	前期	
	・ 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○特別支援教育	1	3	前期	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・ 道徳の理論及び指導法	○道徳教育論	2	3	前期	
	・ 総合的な学習の時間の指導法	○総合的な学習の時間の指導法	2	3	前期	
	・ 特別活動の指導法	○特別活動論	2	3	前期	
	・ 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教育方法学	2	3	後期	
	・ 生徒指導の理論及び方法	○生徒指導論	2	2	後期	
	・ 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	○教育相談	2	3	前期	
教育実践に関する科目	・ 栄養教育実習	○教育実習指導（栄養教諭） ○教育実習（栄養教諭）	1 1	4 4	前期 前期	
	・ 教職実践演習（栄養教諭）	○教職実践演習（栄養教諭）	2	4	後期	

※ 教育実践に関する科目（教育実習指導（栄養教諭）、教育実習（栄養教諭）、教職実践演習（栄養教諭））には履修要件が定められている。要件については、13免許等（2）教育職員免許エ（エ）を参照すること。

- 本学の課程における日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション及び情報機器の操作の科目対応表
 - ・ 栄養（平成31年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
日本国憲法	○日本国憲法	2	1~4	前期	
体育	○健康スポーツ科学	2	1	前期	
外国語コミュニケーション	○英語表現Ⅰ	1	1	前期	
	○英語表現Ⅱ	1	1	後期	
情報機器の操作	○情報リテラシー	2	1	前期	

(イ) 経営情報学部

a 経営情報学科

○ 本学の課程における教科及び教科の指導法に関する科目対応表

・高等学校情報（平成31年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
情報社会・情報倫理	○情報と倫理	2	3	前期	
コンピュータ及び 情報処理（実習を含む。）	○プログラミング	2	2	前期	「プログラミング」について、 29年度以降入学生は、1年次配 当。（後期開講）
	情報科学論	2	1	後期	
	○情報処理基礎	2	1	後期	
	知能情報論	2	2	後期	
	○プログラミング演習	1	2	前期	
	アルゴリズム入門	2	2	前期	
	アルゴリズム演習	1	2	後期	
	○コンピュータ概論	2	2	前期	
数理情報論	2	2	前期		
情報システム（実習を含む。）	システム運用論	2	3	後期	
	知識情報システム論	2	3	前期	
	○経営情報システム実験	1	3	前期	
	○情報システム論	2	2	前期	
	データベース論	2	2	後期	
○情報システム実験	1	2	前期		
情報通信ネットワーク （実習を含む。）	○情報ネットワーク論	2	2	後期	
	ネットワーク管理論	2	3	後期	
	○情報ネットワーク実験	1	3	前期	
	情報セキュリティ論	2	3	前期	
マルチメディア表現及び技術 （実習を含む。）	シミュレーション論	2	3	前期	
	経営情報シミュレーション	2	3	後期	
	視覚情報処理論	2	2	後期	
	○マルチメディア概論	2	2	後期	
	○マルチメディア演習	1	3	前期	
インターネットアプリケーション	1	3	後期		
情報と職業	○情報と職業	2	3	後期	
各教科の指導法（情報機器及び 教材の活用を含む。）	情報科教育法Ⅰ	2	2	後期	
	情報科教育法Ⅱ	2	3	前期	

※ 計25単位以上を修得すること。

※ 教科の指導法は、情報科教育法Ⅰ、Ⅱが必修。

○ 本学の課程における教育の基礎的理解等に関する科目対応表

・平成31年度入学生用

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目				備考
科目	各科目に含める必要事項	授業科目 ○は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
教育の基礎的理解に関する科目	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	○教職入門	2	1	後期	
	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育学概論	2	1	後期	
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○教育心理学	2	2	前期	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	○教育社会学	2	2	前期	
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	○教育課程論	2	2	前期	
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○特別支援教育	1	3	前期	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	○道徳教育論	2	3	前期	中学校教免のみ対象
	・総合的な学習の時間の指導法	○総合的な学習の時間の指導法	2	3	前期	
	・特別活動の指導法	○特別活動論	2	3	前期	
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教育方法学	2	3	後期	
	・生徒指導の理論及び方法	○生徒・進路指導論	2	2	後期	
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	○教育相談	2	3	前期	
教育実践に関する科目	・教育実習	○教育実習指導 ○教育実習Ⅰ ○教育実習Ⅱ	1 2 2	4 4 4	前期 前期 前期	中学校教免のみ必修
	・教職実践演習	○教職実践演習（中・高）	2	4	後期	

※ 教育実践に関する科目（教育実習指導、教育実習Ⅰ、教育実習Ⅱ、教職実践演習）には履修要件が定められている。要件については、13免許等（2）教育職員免許エ（エ）を参照すること。

○ 本学の課程における大学が独自に設定する科目対応表

・平成31年度入学生用

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
大学が独自に設定する科目	○介護等体験 人権論 道徳教育論	2 2 2	3 2 3	通年 後期 前期	中学校教免のみ必修

○ 本学の課程における日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション及び情報機器の操作の科目対応表

・平成31年度入学生用

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
日本国憲法	○日本国憲法	2	1~4	前期	
体育	○保健体育理論	2	1	前期	
外国語コミュニケーション	○英語表現Ⅰ	1	1	前期	
	○英語表現Ⅱ	1	1	後期	
情報機器の操作	○情報リテラシー	2	1	前期	

(ウ) 生命環境学部

○ 本学の課程における教科及び教科の指導法に関する科目対応表

・中学校理科(生命科学科) (平成31年度入学生用)

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
物理学	○物理学Ⅰ ○物理学Ⅱ	2 2	1 1	前期 後期	
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○物理学実験	1	2	後期	
化学	○化学 化学演習 有機化学 無機化学 基礎分析化学 生物化学 生物資源化学	2 1 2 2 2 2 2	1 1 2 2 1 2 3	前期 後期 前期 前期 後期 前期 前期	
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○化学実験	1	1	後期	
生物学	○生態学 ○遺伝学 ○生理学 ○細胞工学 植物組織培養学 ○免疫学 資源植物学 ○基礎植物生理学 ○分子進化発生学 ○発生学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 2 2 3 2 2 2 2 3	前期 後期 前期 後期 前期 後期 後期 前期 前期 前期	
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○生物学実験	1	1	後期	
地学	○地学	2	1	後期	
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○地学実験	1	2	前期	
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	理科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅱ 理科教育法Ⅲ 理科教育法Ⅳ	2 2 2 2	2 3 3 3	後期 前期 後期 後期	

※計36単位以上を修得すること。

※教科の指導法は、理科教育法Ⅰ～Ⅳが必修

高等学校理科(生命科学科) (平成31年度入学生用)

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
物理学	○物理学Ⅰ ○物理学Ⅱ	2 2	1 1	前期 後期	
化学	○化学 化学演習 有機化学 無機化学 基礎分析化学 生物化学 生物資源化学	2 1 2 2 2 2 2	1 1 2 2 1 2 3	前期 後期 前期 前期 後期 前期 前期	
生物学	○生態学 ○遺伝学 ○生理学 ○細胞工学 植物組織培養学 ○免疫学 資源植物学 ○基礎植物生理学 ○分子進化発生学 ○発生学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 2 2 3 2 2 2 2 3	前期 後期 前期 後期 前期 後期 後期 前期 前期 前期	
地学	○地学	2	1	後期	
「物理学実験 (コンピュータ活用を含む。), 化学実験 (コンピュータ活用を含む。), 生物学実験 (コンピュータ活用を含む。), 地学実験 (コンピュータ活用を含む。)」	物理学実験 ○化学実験 ○生物学実験 地学実験	1 1 1 1	2 1 1 2	後期 後期 後期 前期	
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	理科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅱ 理科教育法Ⅲ 理科教育法Ⅳ	2 2 2 2	2 3 3 3	後期 前期 後期 後期	

※計34単位以上を修得すること。

※教科の指導法は、理科教育法Ⅰ～Ⅳが必修

・中学校理科(環境科学科)(平成31年度入学生用)

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
物理学	○物理学Ⅰ ○物理学Ⅱ 放射線計測学	2 2 2	1 1 3	前期 後期 後期	
物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	○物理学実験	1	2	後期	
化学	○化学	2	1	前期	
	物理化学	2	2	前期	
	環境・無機分析化学	2	2	後期	
	生物地球化学	2	2	後期	
	環境有機化学	2	2	後期	
	機能性物質化学	2	2	前期	
	有機分析化学	2	3	前期	
	触媒化学	2	3	後期	
	固体分析化学	2	3	後期	
機能材料化学	2	3	前期		
化学実験(コンピュータ活用を含む。)	○化学実験	1	1	後期	
	材料学実験	2	2	後期	
	分析化学実験	2	2	後期	
	水環境工学実験	2	3	前期	
	機器分析化学実験	2	3	前期	
生物学	○生物学Ⅰ	2	1	前期	
	○生物学Ⅱ	2	1	後期	
	微生物学	2	2	前期	
	生態学	2	2	後期	
	応用微生物学	2	3	後期	
生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	○生物学実験	1	1	後期	
	微生物学実験	2	2	後期	
地学	○地学	2	1	後期	
地学実験(コンピュータ活用を含む。)	○地学実験	1	2	前期	
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	理科教育法Ⅰ	2	2	後期	
	理科教育法Ⅱ	2	3	前期	
	理科教育法Ⅲ	2	3	後期	
	理科教育法Ⅳ	2	3	後期	

※計28単位以上を修得すること。
 ※教科の指導法は、理科教育法Ⅰ～Ⅳが必修

・高等学校理科(環境科学科)(平成31年度入学生用)

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
物理学	○物理学Ⅰ ○物理学Ⅱ 放射線計測学	2 2 2	1 1 3	前期 後期 後期	
化学	○化学	2	1	前期	
	物理化学	2	2	前期	
	環境・無機分析化学	2	2	後期	
	生物地球化学	2	2	後期	
	環境有機化学	2	2	後期	
	機能性物質化学	2	2	前期	
	有機分析化学	2	3	前期	
	触媒化学	2	3	後期	
	固体分析化学	2	3	後期	
機能材料化学	2	3	前期		
生物学	○生物学Ⅰ	2	1	前期	
	○生物学Ⅱ	2	1	後期	
	微生物学	2	2	前期	
	生態学	2	2	後期	
	応用微生物学	2	3	後期	
地学	○地学	2	1	後期	
「物理学実験(コンピュータ活用を含む。), 化学実験(コンピュータ活用を含む。), 生物学実験(コンピュータ活用を含む。), 地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	物理学実験	1	2	後期	
	○化学実験	1	1	後期	
	材料学実験	2	2	後期	
	分析化学実験	2	2	後期	
	水環境工学実験	2	3	前期	
	機器分析化学実験	2	3	前期	
	○生物学実験	1	1	後期	
	微生物学実験	2	2	後期	
	地学実験	1	2	前期	
	理科教育法Ⅰ	2	2	後期	
理科教育法Ⅱ	2	3	前期		
理科教育法Ⅲ	2	3	後期		
理科教育法Ⅳ	2	3	後期		

※計24単位以上を修得すること。
 ※教科の指導法は、理科教育法Ⅰ～Ⅳが必修

○ 本学の課程における教育の基礎的理解等に関する科目対応表

・平成31年度入学生用

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目				備考
科目	各科目に含める必要事項	授業科目 ○は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
教育の基礎的理解に関する科目	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	○教職入門	2	1	後期	
	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育学概論	2	1	後期	
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○教育心理学	2	2	前期	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	○教育社会学	2	2	前期	
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	○教育課程論	2	2	後期	
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○特別支援教育	1	3	前期	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	○道徳教育論	2	3	前期	中学校教免のみ対象
	・総合的な学習の時間の指導法	○総合的な学習の時間の指導法	2	3	前期	
	・特別活動の指導法	○特別活動論	2	3	後期	
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教育方法学	2	3	後期	
	・生徒指導の理論及び方法	○生徒・進路指導論	2	2	後期	
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	○教育相談	2	3	前期	
教育実践に関する科目	・教育実習	○教育実習指導 ○教育実習Ⅰ ○教育実習Ⅱ	1 2 2	4 4 4	前期 前期 前期	中学校教免のみ必修
	・教職実践演習	○教職実践演習（中・高）	2	4	後期	

※ 教育実践に関する科目（教育実習指導、教育実習Ⅰ、教育実習Ⅱ、教職実践演習）には履修要件が定められている。要件については、13免許等（2）教育職員免許エ（エ）を参照すること。

○ 本学の課程における大学が独自に設定する科目対応表

・平成31年度入学生用

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
大学が独自に設定する科目	○介護等体験 人権論 道徳教育論	2 2 2	3 2～4 3	通年 前期 前期	中学校教免のみ必修

※ 道徳教育論は、高校一種についてのみ対象の授業科目となる。

○ 本学の課程における日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション及び情報機器の操作の科目対応表

・平成31年度入学生用

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
日本国憲法	○日本国憲法	2	1～4	前期	
体育	○保健体育理論	2	1	後期	
外国語コミュニケーション	○英語表現Ⅰ	1	1	前期	
	○英語表現Ⅱ	1	1	後期	
情報機器の操作	○情報リテラシー	2	1	前期	

<平成30年度以前入学生用>

(ア) 人間文化学部

a 国際文化学科

○ 本学の課程における教科に関する科目対応表

中学校英語，高等学校英語（平成30年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
英語学	○英語文化論（英語学概論）	2	2	後期	
	英語文化論基礎演習	2	3	前期	
	英語文化論演習	2	3	後期	
	英語音声学特論	2	2	前期	
	英文法	2	3	後期	
英米文学	○英米文学論	2	2	後期	
	英米文学論基礎演習	2	3	前期	
	英米文学論演習	2	3	後期	
	英米文学論特論A	2	2	前期	
	英米文学論特論B	2	2	後期	
英語コミュニケーション	○英語コミュニケーション	2	3	前期	
	メディア・イングリッシュ	1	2	後期	
	英語表現論	2	2	後期	
	英語表現論基礎演習	2	3	前期	
	英語表現論演習	2	3	後期	
異文化理解	米国社会文化論	2	2	前期	
	米国社会文化論基礎演習	2	3	前期	
	米国社会文化論演習	2	3	後期	
	○英米地域論	2	2	後期	
	英米地域論基礎演習	2	3	前期	
	英米地域論演習	2	3	後期	
	英米地域論特論	2	2	前期	
	英国社会文化論	2	2	後期	
	英国社会文化論基礎演習	2	3	前期	
	英国社会文化論演習	2	3	後期	
	英国社会文化論特論	2	2	前期	
	英米文化史論	2	2	前期	
	英米文化史論基礎演習	2	3	前期	
	英米文化史論演習	2	3	後期	
英米文化史論特論	2	2	後期		

※ 計20単位以上を修得すること。

中学校英語，高等学校英語（平成29年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
英語学	○英語文化論（英語学概論）	2	2	後期	
	英語文化論基礎演習	2	3	前期	
	英語文化論演習	2	3	後期	
	英語音声学特論	2	2	前期	
英米文学	○英米文学論	2	2	後期	
	英米文学論基礎演習	2	3	前期	
	英米文学論演習	2	3	後期	
	英米文学論特論A	2	2	前期	
	英米文学論特論B	2	2	後期	
英語コミュニケーション	CALL演習	1	1	後期	
	○英語コミュニケーション	2	3	前期	
	時事英語	1	2	後期	
	英語表現論	2	2	後期	
	英語表現論基礎演習	2	3	前期	
	英語表現論演習	2	3	後期	
異文化理解	米国社会文化論	2	2	前期	
	米国社会文化論基礎演習	2	3	前期	
	米国社会文化論演習	2	3	後期	
	○英米地域論	2	2	後期	
	英米地域論基礎演習	2	3	前期	
	英米地域論演習	2	3	後期	
	英米地域論特論	2	2	前期	
	英国社会文化論	2	2	後期	
	英国社会文化論基礎演習	2	3	前期	
	英国社会文化論演習	2	3	後期	
	英国社会文化論特論	2	2	前期	
	英米文化史論	2	2	前期	
	英米文化史論基礎演習	2	3	前期	
	英米文化史論演習	2	3	後期	
英米文化史論特論	2	2	後期		

※ 計20単位以上を修得すること。

・中学校英語，高等学校英語（平成28年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目			備考
	授業科目 ○印は教必修科目	単位数	配当年次 前後期別	
英語学	○英語文化論（英語学概論）	2	2 後期	
	英語文化論基礎演習	2	3 前期	
	英語文化論演習	2	3 後期	
	英語文化論特論（英語音声学）	2	2 前期	
英米文学	○英米文学論	2	2 後期	
	英米文学論基礎演習	2	3 前期	
	英米文学論演習	2	3 後期	
	英米文学論特論A	2	2 前期	
	英米文学論特論B	2	2 後期	
英語コミュニケーション	CALL演習	1	1 後期	
	○英語コミュニケーション	2	3 前期	
	時事英語	1	2 後期	
	英語表現論	2	2 後期	
	英語表現論基礎演習	2	3 前期	
	英語表現論演習	2	3 後期	
	英文法特論	2	3 後期	
異文化理解	異文化コミュニケーション論	2	2 前期	
	異文化コミュニケーション論基礎演習	2	3 前期	
	異文化コミュニケーション論演習	2	3 後期	
	○英米地域論	2	2 後期	
	英米地域論基礎演習	2	3 前期	
	英米地域論演習	2	3 後期	
	英米地域論特論	2	2 前期	
	英米社会文化論	2	2 後期	
	英米社会文化論基礎演習	2	3 前期	
	英米社会文化論演習	2	3 後期	
	英米社会文化論特論	2	2 前期	
	英米文化史論	2	2 前期	
	英米文化史論基礎演習	2	3 前期	
	英米文化史論演習	2	3 後期	
	英米文化史論特論	2	2 後期	

※ 計20単位以上を修得すること。

・中学校国語・高等学校国語（平成29・30年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	○日本語表現	2	1～3	前期	
	中日対照言語学	2	2	前期	
	○日本語文化論（日本語学）	2	2	後期	
	日本語文化論基礎演習	2	3	前期	
	日本語文化論演習	2	3	後期	
	日本語文化論特論A	2	2	前期	
○日本語文化論特論B（日本語音声学）	2	2	後期		
国文学 (国文学史を含む。)	○日本文学論（国文学）	2	2	後期	日本文学論特論Bに国文学史の内容を含む。
	日本文学論基礎演習	2	3	前期	
	日本文学論演習	2	3	後期	
	日本文学論特論A	2	2	前期	
	○日本文学論特論B	2	2	前期	
	日本語表象論	2	2	前期	
	日本語表象論基礎演習	2	3	前期	
	日本語表象論演習	2	3	後期	
日本語表象論特論	2	2	後期		
漢文学	○東アジア文学論（中国文学）	2	2	前期	
	東アジア文学論基礎演習	2	3	前期	
	東アジア文学論演習	2	3	後期	
	日中比較文学論	2	2	後期	
書道（書写を中心とする。）	○書道・書写	2	2	前期	中学校教免のみ必修

※ 計20単位以上を修得すること。

※ 書道（書写を中心とする。）は、中学一種のみ対象となる科目区分であり、書道・書写の単位は、中学一種では教科に関する科目の必修単位となるが、高校一種では教科に関する科目の単位にも選択科目の単位にもならない。

・中学校国語・高等学校国語（平成28年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	○日本語表現	2	1・2	前期	日本語文化論特論Bに音声言語の内容を含む。
	対照言語学	2	2	前期	
	日本語コミュニケーション	2	1	後期	
	○日本語文化論（日本語学）	2	2	後期	
	日本語文化論基礎演習	2	3	前期	
	日本語文化論演習	2	3	後期	
	日本語文化論特論A	2	2	前期	
	○日本語文化論特論B	2	2	後期	
国文学 (国文学史を含む。)	○日本文学論（国文学）	2	2	後期	日本文学論特論Bに国文学史の内容を含む。
	日本文学論基礎演習	2	3	前期	
	日本文学論演習	2	3	後期	
	日本文学論特論A	2	2	前期	
	○日本文学論特論B	2	2	前期	
	日本語表象論	2	2	前期	
	日本語表象論基礎演習	2	3	前期	
	日本語表象論演習	2	3	後期	
日本語表象論特論	2	2	後期		
漢文学	○東アジア文学論（中国文学）	2	2	前期	
	東アジア文学論基礎演習	2	3	前期	
	東アジア文学論演習	2	3	後期	
	東アジア文学論特論	2	2	後期	
書道（書写を中心とする。）	○書道・書写	2	2	前期	中学校教免のみ必修

※ 計20単位以上を修得すること。

※ 書道（書写を中心とする。）は、中学一種のみ対象となる科目区分であり、書道・書写の単位は、中学一種では教科に関する科目の必修単位となるが、高校一種では教科に関する科目の単位にも選択科目の単位にもならない。

・中学校社会（平成30年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
日本史及び外国史	国際関係史論	2	1	後期	
	○米国史論（西洋史）	2	2	後期	
	米国史論基礎演習	2	3	前期	
	米国史論演習	2	3	後期	
	米国史論特論	2	2	前期	
	英国史論特論	2	2	前期	
	○東アジア地域史論（東洋史）	2	2	後期	
	東アジア地域史論基礎演習	2	3	前期	
	東アジア地域史論演習	2	3	後期	
	東アジア地域史論特論A	2	2	前期	
	東アジア地域史論特論B	2	2	後期	
	○日本地域史論（日本史）	2	2	前期	
	日本地域史論基礎演習	2	3	前期	
	日本地域史論演習	2	3	後期	
	日本地域史論特論	2	2	後期	
	日本文化史論（日本文化史）	2	2	前期	
	日本文化史論基礎演習	2	3	前期	
	日本文化史論演習	2	3	後期	
日本文化史論特論	2	2	後期		
地理学（地誌を含む。）	○地誌学	2	1	前期	
	○人文地理学	2	1	後期	
	○自然地理学	2	1	前期	
	日本地域論	2	2	後期	
	日本地域論基礎演習	2	3	前期	
	日本地域論演習	2	3	後期	
	日本地域論特論	2	2	前期	
「法学、政治学」	法学概論	2	2	後期	法学概論又は政治学のいずれか選択必修
	政治学	2	1	後期	
	国際法	2	2	後期	
	国際政治論	2	2	後期	
「社会学、経済学」	経済学概論	2	2	後期	経済学概論又は基礎社会学のいずれか選択必修
	基礎社会学	2	1	後期	
	国際経済論	2	1	前期	
	比較社会論	2	1	前期	
	東アジア社会文化論	2	2	前期	
	東アジア社会文化論基礎演習	2	3	前期	
	東アジア社会文化論演習	2	3	後期	
	東アジア社会文化論特論	2	2	後期	
	東アジア社会論	2	2	前期	
	東アジア社会論基礎演習	2	3	前期	
	東アジア社会論演習	2	3	後期	
東アジア社会論特論	2	2	後期		
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学	2	1～4	前期	哲学、倫理学又は宗教学のいずれか選択必修
	倫理学	2	1～4	後期	
	宗教学	2	1	後期	
	思想文化論	2	2	前期	
	思想文化論基礎演習	2	3	前期	
	思想文化論演習	2	3	後期	
	思想文化論特論	2	2	後期	

※ 計20単位以上を修得すること。

・中学校社会（平成29年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
日本史及び外国史	国際関係史論	2	1	後期	
	○米国史論（西洋史）	2	2	後期	
	米国史論基礎演習	2	3	前期	
	米国史論演習	2	3	後期	
	米国史論特論	2	2	前期	
	英国史論特論	2	2	前期	
	○東アジア地域史論（東洋史）	2	2	後期	
	東アジア地域史論基礎演習	2	3	前期	
	東アジア地域史論演習	2	3	後期	
	東アジア地域史論特論A	2	2	前期	
	東アジア地域史論特論B	2	2	後期	
	○日本地域史論（日本史）	2	2	前期	
	日本地域史論基礎演習	2	3	前期	
	日本地域史論演習	2	3	後期	
	日本地域史論特論	2	2	後期	
	日本文化史論（日本文化史）	2	2	前期	
	日本文化史論基礎演習	2	3	前期	
	日本文化史論演習	2	3	後期	
日本文化史論特論	2	2	後期		
地理学（地誌を含む。）	○地誌学	2	1	前期	
	○人文地理学	2	1	後期	
	○自然地理学	2	1	前期	
	日本地域論	2	2	後期	
	日本地域論基礎演習	2	3	前期	
	日本地域論演習	2	3	後期	
日本地域論特論	2	2	前期		
「法学, 政治学」	法学概論	2	2	後期	法学概論又は政治学のいずれかが選択必修
	政治学	2	1	後期	
	国際法	2	2	後期	
	国際政治論	2	2	後期	
	国際政治論基礎演習	2	3	前期	
	国際政治論演習	2	3	後期	
国際政治論特論	2	2	前期		
「社会学, 経済学」	経済学概論	2	2	後期	経済学概論又は社会学概論のいずれかが選択必修
	社会学概論	2	2	後期	
	国際経済論	2	1	前期	
	比較社会論	2	1	前期	
	東アジア社会文化論	2	2	前期	
	東アジア社会文化論基礎演習	2	3	前期	
	東アジア社会文化論演習	2	3	後期	
	東アジア社会文化論特論	2	2	後期	
	東アジア社会論	2	2	前期	
	東アジア社会論基礎演習	2	3	前期	
東アジア社会論演習	2	3	後期		
東アジア社会論特論	2	2	後期		
「哲学, 倫理学, 宗教学」	哲学	2	1~3	前期	哲学, 倫理学又は宗教学のいずれかが選択必修
	倫理学	2	1~3	後期	
	宗教学	2	1	後期	
	思想文化論	2	2	前期	
	思想文化論基礎演習	2	3	前期	
	思想文化論演習	2	3	後期	
	思想文化論特論	2	2	後期	

※ 計20単位以上を修得すること。

・中学校社会（平成28年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
日本史及び外国史	国際関係史論	2	1	後期	
	○英米地域史論（西洋史）	2	2	後期	
	英米地域史論基礎演習	2	3	前期	
	英米地域史論演習	2	3	後期	
	英米地域史論特論A	2	2	前期	
	英米地域史論特論B	2	2	前期	
	○東アジア地域史論（東洋史）	2	2	後期	
	東アジア地域史論基礎演習	2	3	前期	
	東アジア地域史論演習	2	3	後期	
	東アジア地域史論特論A	2	2	前期	
	東アジア地域史論特論B	2	2	後期	
	○日本地域史論（日本史）	2	2	前期	
	日本地域史論基礎演習	2	3	前期	
	日本地域史論演習	2	3	後期	
	日本地域史論特論	2	2	後期	
	日本文化史論（日本文化史）	2	2	前期	
	日本文化史論基礎演習	2	3	前期	
	日本文化史論演習	2	3	後期	
日本文化史論特論	2	2	後期		
地理学（地誌を含む。）	○地誌学	2	1	前期	
	○人文地理学	2	1	後期	
	○自然地理学	2	1	前期	
	日本地域論	2	2	後期	
	日本地域論基礎演習	2	3	前期	
	日本地域論演習	2	3	後期	
	日本地域論特論	2	2	前期	
「法学, 政治学」	法学概論	2	2	後期	法学概論又は政治学のいずれかが選択必修
	政治学	2	1	後期	
	国際法	2	2	後期	
	国際政治論	2	2	後期	
	国際政治論基礎演習	2	3	前期	
	国際政治論演習	2	3	後期	
	国際政治論特論	2	2	前期	
「社会学, 経済学」	経済学概論	2	2	後期	経済学概論又は社会学概論のいずれかが選択必修
	社会学概論	2	2	後期	
	国際経済論	2	1	前期	
	比較社会論	2	1	前期	
	東アジア社会文化論	2	2	前期	
	東アジア社会文化論基礎演習	2	3	前期	
	東アジア社会文化論演習	2	3	後期	
	東アジア社会文化論特論	2	2	後期	
	国際協力論	2	2	前期	
	国際協力論基礎演習	2	3	前期	
国際協力論演習	2	3	後期		
国際協力論特論	2	2	後期		
「哲学, 倫理学, 宗教学」	哲学	2	1・2	前期	哲学, 倫理学又は宗教学のいずれかが選択必修
	倫理学	2	1・2	後期	
	宗教学	2	1	後期	
	思想文化論	2	2	前期	
	思想文化論基礎演習	2	3	前期	
	思想文化論演習	2	3	後期	
	思想文化論特論	2	2	後期	

※ 計20単位以上を修得すること。

・高等学校地理歴史（平成29・30年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
日本史	○日本地域史論（日本史）	2	2	前期	
	日本地域史論基礎演習	2	3	前期	
	日本地域史論演習	2	3	後期	
	日本地域史論特論	2	2	後期	
	日本文化史論（日本文化史）	2	2	前期	
	日本文化史論基礎演習	2	3	前期	
	日本文化史論演習	2	3	後期	
	日本文化史論特論	2	2	後期	
外国史	国際関係史論	2	1	後期	
	○米国史論（西洋史）	2	2	後期	
	米国史論基礎演習	2	3	前期	
	米国史論演習	2	3	後期	
	米国史論特論	2	2	前期	
	英国史論特論	2	2	前期	
	○東アジア地域史論（東洋史）	2	2	後期	
	東アジア地域史論基礎演習	2	3	前期	
	東アジア地域史論演習	2	3	後期	
	東アジア地域史論特論A	2	2	前期	
	東アジア地域史論特論B	2	2	後期	
	人文地理学及び自然地理学	○人文地理学	2	1	
○自然地理学		2	1	前期	
日本地域論特論		2	2	前期	
地誌	○地誌学	2	1	前期	
	日本地域論	2	2	後期	
	日本地域論基礎演習	2	3	前期	
	日本地域論演習	2	3	後期	

※ 計20単位以上を修得すること。

・高等学校地理歴史（平成28年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
日本史	○日本地域史論（日本史）	2	2	前期	
	日本地域史論基礎演習	2	3	前期	
	日本地域史論演習	2	3	後期	
	日本地域史論特論	2	2	後期	
	日本文化史論（日本文化史）	2	2	前期	
	日本文化史論基礎演習	2	3	前期	
	日本文化史論演習	2	3	後期	
	日本文化史論特論	2	2	後期	
外国史	国際関係史論	2	1	後期	
	○英米地域史論（西洋史）	2	2	後期	
	英米地域史論基礎演習	2	3	前期	
	英米地域史論演習	2	3	後期	
	英米地域史論特論A	2	2	前期	
	英米地域史論特論B	2	2	前期	
	○東アジア地域史論（東洋史）	2	2	後期	
	東アジア地域史論基礎演習	2	3	前期	
	東アジア地域史論演習	2	3	後期	
	東アジア地域史論特論A	2	2	前期	
	東アジア地域史論特論B	2	2	後期	
	人文地理学及び自然地理学	○人文地理学	2	1	
○自然地理学		2	1	前期	
日本地域論特論		2	2	前期	
地誌	○地誌学	2	1	前期	
	日本地域論	2	2	後期	
	日本地域論基礎演習	2	3	前期	
	日本地域論演習	2	3	後期	

※ 計20単位以上を修得すること。

・高等学校公民（平成30年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法学概論	2	2	後期	「法学概論及び国際法」又は「政治学及び国際政治論」のいずれか選択必修
	政治学	2	1	後期	
	国際法	2	2	後期	
	国際政治論	2	2	後期	
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	経済学概論	2	2	後期	基礎社会学又は「経済学概論及び国際経済論」のいずれか選択必修
	基礎社会学	2	1	後期	
	国際経済論	2	1	前期	
	比較社会論	2	1	前期	
	東アジア社会文化論	2	2	前期	
	東アジア社会文化論基礎演習	2	3	前期	
	東アジア社会文化論演習	2	3	後期	
	東アジア社会文化論特論	2	2	後期	
	東アジア社会論	2	2	前期	
	東アジア社会論基礎演習	2	3	前期	
	東アジア社会論演習	2	3	後期	
東アジア社会論特論	2	2	後期		
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	哲学	2	1～4	前期	哲学，倫理学，宗教学又は心理学のいずれか選択必修
	倫理学	2	1～4	後期	
	心理学	2	1～4	前期	
	宗教学	2	1	後期	
	思想文化論	2	2	前期	
	思想文化論基礎演習	2	3	前期	
	思想文化論演習	2	3	後期	
	思想文化論特論	2	2	後期	
	人間心理論	2	2	後期	
	人間心理論基礎演習	2	3	前期	
人間心理論演習	2	3	後期		

※ 計20単位以上を修得すること。

・高等学校公民（平成29年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法学概論	2	2	後期	「法学概論及び国際法」又は「政治学及び国際政治論」のいずれか選択必修
	政治学	2	1	後期	
	国際法	2	2	後期	
	国際政治論	2	2	後期	
	国際政治論基礎演習	2	3	前期	
	国際政治論演習	2	3	後期	
	国際政治論特論	2	2	前期	
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	経済学概論	2	2	後期	社会学概論又は「経済学概論及び国際経済論」のいずれか選択必修
	社会学概論	2	2	後期	
	国際経済論	2	1	前期	
	比較社会論	2	1	前期	
	東アジア社会文化論	2	2	前期	
	東アジア社会文化論基礎演習	2	3	前期	
	東アジア社会文化論演習	2	3	後期	
	東アジア社会文化論特論	2	2	後期	
	東アジア社会論	2	2	前期	
	東アジア社会論基礎演習	2	3	前期	
東アジア社会論演習	2	3	後期		
東アジア社会論特論	2	2	後期		
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	哲学	2	1～3	前期	哲学，倫理学，宗教学又は心理学のいずれか選択必修
	倫理学	2	1～3	後期	
	心理学	2	1～3	前期	
	人間関係論	2	1	後期	
	宗教学	2	1	後期	
	思想文化論	2	2	前期	
	思想文化論基礎演習	2	3	前期	
	思想文化論演習	2	3	後期	
	思想文化論特論	2	2	後期	
	人間心理論	2	2	後期	
人間心理論基礎演習	2	3	前期		
人間心理論演習	2	3	後期		

※ 計20単位以上を修得すること。

・高等学校公民（平成28年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法学概論	2	2	後期	「法学概論及び国際法」又は「政治学及び国際政治論」のいずれか選択必修
	政治学	2	1	後期	
	国際法	2	2	後期	
	国際政治論	2	2	後期	
	国際政治論基礎演習	2	3	前期	
	国際政治論演習	2	3	後期	
	国際政治論特論	2	2	前期	
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	経済学概論	2	2	後期	社会学概論又は「経済学概論及び国際経済論」のいずれか選択必修
	社会学概論	2	2	後期	
	国際経済論	2	1	前期	
	比較社会論	2	1	前期	
	東アジア社会文化論	2	2	前期	
	東アジア社会文化論基礎演習	2	3	前期	
	東アジア社会文化論演習	2	3	後期	
	東アジア社会文化論特論	2	2	後期	
	国際協力論	2	2	前期	
	国際協力論基礎演習	2	3	前期	
	国際協力論演習	2	3	後期	
国際協力論特論	2	2	後期		
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	哲学	2	1・2	前期	哲学，倫理学，宗教学又は心理学のいずれか選択必修
	倫理学	2	1・2	後期	
	心理学	2	1・2	前期	
	大学生活と心理学	2	1	前期	
	人間関係論	2	1	後期	
	宗教学	2	1	後期	
	思想文化論	2	2	前期	
	思想文化論基礎演習	2	3	前期	
	思想文化論演習	2	3	後期	
	思想文化論特論	2	2	後期	
	人間心理論	2	2	後期	
	人間心理論基礎演習	2	3	前期	
	人間心理論演習	2	3	後期	

※ 計20単位以上を修得すること。

○ 本学の課程における教職に関する科目対応表

・平成28～30年度入学生用

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目				備考
科目	各科目に含める必要事項	授業科目 ○は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修，服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	○教職入門	2	1	後期	
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育学概論	2	1	後期	
	・幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児，児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	○教育心理学	2	2	前期	
	・教育に関する社会的，制度的又は経営的事項	○教育社会学	2	2	前期	
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	○教育課程論	2	2	前期	
	・各教科の指導法	国語科教育法Ⅰ	2	2	後期	
		国語科教育法Ⅱ	2	3	前期	
		国語科教育法Ⅲ	2	3	前期	
		国語科教育法Ⅳ	2	3	後期	
		社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	2	2	後期	
		社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	2	3	前期	
		社会科・公民科教育法Ⅰ	2	3	前期	
		社会科・公民科教育法Ⅱ	2	3	後期	
		英語科教育法Ⅰ	2	2	後期	
		英語科教育法Ⅱ	2	3	前期	
	英語科教育法Ⅲ	2	3	後期		
	英語科教育法Ⅳ	2	3	後期		
・道徳の指導法	○道徳教育論	2	3	前期	中学校教免のみ対象	
・特別活動の指導法	○特別活動論	2	3	前期		
・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教育方法学	2	3	後期		
生徒指導，教育相談及び進路指導等に	・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導の理論及び方法	○生徒・進路指導論	2	2	後期	

関する科目	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	○教育相談	2	3	前期	
教育実習		○教育実習指導 ○教育実習Ⅰ ○教育実習Ⅱ	1 2 2	4 4 4	前期 前期 前期	中学校教免のみ必修
教職実践演習		○教職実践演習（中・高）	2	4	後期	

※ 教育実習関係科目（教育実習指導、教育実習Ⅰ、教育実習Ⅱ、教職実践演習）には履修要件が定められている。要件については、13免許等（2）教育職員免許エ（エ）を参照すること。

※ 各教科の指導法の必修科目は次のとおりである。

教科	免許状の種類	必修科目
国語	中学一種	国語科教育法Ⅰ，国語科教育法Ⅱ
	高校一種	国語科教育法Ⅰ
英語	中学一種	英語科教育法Ⅰ，英語科教育法Ⅱ
	高校一種	英語科教育法Ⅰ
社会	中学一種	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ，社会科・公民科教育法Ⅰ
地理歴史	高校一種	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ
公民	高校一種	社会科・公民科教育法Ⅰ

※ 次の教科は、その免許状の取得において単位として認められる科目について特に注意すること。

教科	免許状の種類	免許状の取得において単位として認められる科目
社会	中学一種	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ，社会科・地理歴史科教育法Ⅱ 社会科・公民科教育法Ⅰ，社会科・公民科教育法Ⅱ
地理歴史	高校一種	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ，社会科・地理歴史科教育法Ⅱ
公民	高校一種	社会科・公民科教育法Ⅰ，社会科・公民科教育法Ⅱ

※ 道徳教育論は、中学一種についてのみ対象の授業科目となる。

- 本学の課程における教科又は教職に関する科目対応表
 ・平成28～30年度入学生用

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
教科又は教職に関する科目	○介護等体験	2	3	通年	中学校教免のみ必修
	人権論	2	2～4	後期	
	道徳教育論	2	3	前期	

※ 道徳教育論は、高校一種についてのみ対象の授業科目となる。

- 本学の課程における日本国憲法，体育，外国語コミュニケーション及び情報機器の操作の科目対応表
 ・平成28～30年度入学生用

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
日本国憲法	○日本国憲法	2	1～4	前期	
体育	○保健体育理論	2	1	後期	
外国語コミュニケーション	英語コミュニケーション	2	3	前期	英語，中国語及び韓国・朝鮮語から1カ国語2単位以上を選択必修
	英語Ⅰ (Global Communication Ⅰ)	1	1	前期	
	英語Ⅲ (Global Communication Ⅱ)	1	1	後期	
	中国語Ⅰ	1	1	前期	
	中国語Ⅲ	1	1	後期	
	韓国・朝鮮語Ⅰ	1	1	前期	
韓国・朝鮮語Ⅲ	1	1	後期		
情報機器の操作	○情報リテラシー	2	1	前期	

b 健康科学科

○ 本学の課程における栄養に係る教育に関する科目対応表

・栄養（平成28～30年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 ・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 ・食生活に関する歴史的及び文化的事項	○ 学校栄養教育論Ⅰ	2	3	前期	
・食に関する指導の方法に関する事項	○ 学校栄養教育論Ⅱ	2	3	後期	

○ 本学の課程における教職に関する科目対応表

・栄養（平成30年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目			
科目	各科目に含める必要事項	授業科目 ○は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	○教職入門	2	1	後期
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育学概論	2	1	後期
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	○教育社会学	2	2	前期
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	○教育心理学	2	2	前期
教育課程に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	○教育課程論	2	2	前期
	・道徳及び特別活動に関する内容	○道徳教育論	2	3	前期
		○特別活動論	2	3	前期
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教育方法学	2	3	後期
生徒指導及び教育相談に関する科目	・生徒指導の理論及び方法	○生徒指導論	2	2	後期
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	○教育相談	2	3	前期
栄養教育実習		○教育実習指導（栄養教諭） ○教育実習（栄養教諭）	1 1	4 4	前期 前期
教職実践演習		○教職実践演習（栄養教諭）	2	4	後期

※ 栄養教育実習Ⅱ及び教職実践演習には履修要件が定められている。要件については、13免許等（2）教育職員免許エ（エ）を参照すること。

・栄養（平成28・29年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目			
科目	各科目に含める必要事項	授業科目 ○は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	○教職入門	2	1	後期
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育学概論	2	1	後期
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	○教育社会学	2	2	前期
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	○教育心理学	2	2	前期
教育課程に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	○教育課程論	2	2	前期
	・道徳及び特別活動に関する内容	○道徳教育論	2	3	前期
		○特別活動論	2	3	前期
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教育方法学	2	3	後期
生徒指導及び教育相談に関する科目	・生徒指導の理論及び方法	○生徒・進路指導論	2	2	後期
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	○教育相談	2	3	前期
栄養教育実習		○教育実習指導（栄養教諭） ○教育実習（栄養教諭）	1 1	4 4	前期 前期
教職実践演習		○教職実践演習（栄養教諭）	2	4	後期

※ 栄養教育実習Ⅱ及び教職実践演習には履修要件が定められている。要件については、13免許等（2）教育職員免許エ（エ）を参照すること。

- 本学の課程における日本国憲法，体育，外国語コミュニケーション及び情報機器の操作の科目対応表
 ・栄養（平成28～30年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
日本国憲法	○日本国憲法	2	1～4	前期	
体育	○健康スポーツ科学	2	1	前期	
外国語コミュニケーション	○英語表現Ⅰ	1	1	前期	
	○英語表現Ⅱ	1	1	後期	
情報機器の操作	○情報リテラシー	2	1	前期	

(イ) 経営情報学部

a 経営学科

○ 本学の課程における教科に関する科目対応表

・高等学校公民（平成29年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考	
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別		
「法学（国際法を含む。）、 政治学（国際政治を含む。）」	法学概論	2	2	後期	「法学概論及び国際法」又は 「政治学及び国際政治論」のいずれか選択必修	
	政治学	2	2	後期		
	民法Ⅰ	2	2	前期		
	民法Ⅱ	2	2	後期		
	国際法	2	2	後期		
	国際政治論	2	2	後期		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	経済学概論	2	2	後期	社会学概論又は「経済学概論及び 国際経済学」のいずれか選択必修	
	社会学概論	2	2	後期		
	地域政策論	2	3	前期		
	地域マネジメント論	2	2	後期		
	地域コミュニティ論	2	3	後期		
	NPO論	2	3	前期		
	財政学	2	3	後期		
	社会調査論	2	3	前期		
	地域課題研究	2	3	後期		
	産業組織論	2	2	後期		
	地域経済論	2	3	前期		
	公共経済学	2	2	後期		
	経済政策	2	3	前期		
	国際経済学	2	3	前期		
経済発展論	2	3	後期			
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	哲学	2	1～3	前期	哲学，倫理学，宗教学又は心理学 のいずれか選択必修	
	倫理学	2	1～3	後期		
	心理学	2	1～3	前期		
	思想文化論	2	2	前期		国際文化学科開講
	宗教学	2	1	後期		国際文化学科開講
	思想文化論特論	2	2	後期		国際文化学科開講

※ 計20単位以上を修得すること。

・高等学校公民（平成28年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考	
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別		
「法学（国際法を含む。）、 政治学（国際政治を含む。）」	法学概論	2	2	後期	「法学概論及び国際法」又は 「政治学及び国際政治論」のいずれか選択必修	
	政治学	2	2	後期		
	民法Ⅰ	2	2	前期		
	民法Ⅱ	2	2	後期		
	国際法	2	2	後期		
	国際政治論	2	2	後期		
「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	経済学概論	2	2	後期	社会学概論又は「経済学概論及び 国際経済学」のいずれか選択必修	
	社会学概論	2	2	後期		
	地域政策論	2	3	前期		
	地域マネジメント論	2	2	後期		
	地域コミュニティ論	2	3	後期		
	NPO論	2	3	前期		
	財政学	2	3	後期		
	社会調査論	2	3	前期		
	地域課題研究	2	3	後期		
	産業組織論	2	2	後期		
	地域経済論	2	3	前期		
	公共経済学	2	2	後期		
	経済政策	2	3	前期		
	国際経済学	2	3	前期		
経済発展論	2	3	後期			
「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	哲学	2	1・2	前期	哲学，倫理学，宗教学又は心理学 のいずれか選択必修	
	倫理学	2	1・2	後期		
	心理学	2	1・2	前期		
	大学生活と心理学	2	1	前期		
	思想文化論	2	2	前期		国際文化学科開講
	宗教学	2	1	後期		国際文化学科開講
	思想文化論特論	2	2	後期		国際文化学科開講

※ 計20単位以上を修得すること。

b 経営情報学科

・高等学校情報（平成28～30年度入学生用）

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
情報社会及び情報倫理	○情報と倫理	2	3	前期	
コンピュータ及び 情報処理（実習を含む。）	○プログラミング	2	2	前期	「プログラミング」について、 29年度以降入学生は、1年次配 当。（後期開講）
	情報科学論	2	1	後期	
	○情報処理基礎	2	1	後期	
	知能情報論	2	2	後期	
	○プログラミング演習	1	2	前期	
	アルゴリズム入門	2	2	前期	
	アルゴリズム演習	1	2	後期	
	○コンピュータ概論	2	2	前期	
	数理情報論	2	2	前期	
情報システム（実習を含む。）	システム運用論	2	3	後期	
	知識情報システム論	2	3	前期	
	○経営情報システム実験	1	3	前期	
	○情報システム論	2	2	前期	
	データベース論	2	2	後期	
	○情報システム実験	1	2	前期	
情報通信ネットワーク （実習を含む。）	○情報ネットワーク論	2	2	後期	
	ネットワーク管理論	2	3	後期	
	○情報ネットワーク実験	1	3	前期	
	情報セキュリティ論	2	3	前期	
マルチメディア表現及び技術 （実習を含む。）	シミュレーション論	2	3	前期	
	経営情報シミュレーション	2	3	後期	
	視覚情報処理論	2	2	後期	
	○マルチメディア概論	2	2	後期	
	○マルチメディア演習	1	3	前期	
	インターネットアプリケーション	1	3	後期	
情報と職業	○情報と職業	2	3	後期	

※ 計21単位以上を修得すること。

○ 本学の課程における教職に関する科目対応表

・平成28～30年度入学生用

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目				備考
科目	各科目に含める必要事項	授業科目 ○は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	○教職入門	2	1	後期	
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育学概論	2	1	後期	
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	○教育心理学	2	2	前期	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	○教育社会学	2	2	前期	
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	○教育課程論	2	2	前期	
	・各教科の指導法	社会科・公民科教育法Ⅰ	2	3	前期	
		社会科・公民科教育法Ⅱ	2	3	後期	
	・道徳の指導法	情報科教育法Ⅰ	2	2	後期	
		情報科教育法Ⅱ	2	3	前期	
	・特別活動の指導法	○特別活動論	2	3	前期	
・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教育方法学	2	3	後期		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・生徒指導の理論及び方法	○生徒・進路指導論	2	2	後期	
	・進路指導の理論及び方法					
教育実習	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	○教育相談	2	3	前期	
		○教育実習指導 ○教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ	1 2 2	4 4 4	前期 前期 前期	
教職実践演習		○教職実践演習（中・高）	2	4	後期	

※ 教育実習関係科目（教育実習指導、教育実習Ⅰ、教育実習Ⅱ、教職実践演習）には履修要件が定められている。要件については、免許等（2）教育職員免許エ（エ）を参照すること。

※ 各教科の指導法は、該当教科について、2単位を必修とする。

具体的には、公民では社会科・公民科教育法Ⅰ、情報では情報科教育法Ⅰの単位がそれぞれ必修となる。

○ 本学の課程における教科又は教職に関する科目対応表

・平成28～30年度入学生用

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
教科又は教職に関する科目	○介護等体験	2	3	通年	中学校教免のみ必修
	人権論	2	2～4	後期	
	道徳教育論	2	3	前期	

○ 本学の課程における日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション及び情報機器の操作の科目対応表

・平成28～30年度入学生用

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
日本国憲法	○日本国憲法	2	1～4	前期	
体育	○保健体育理論	2	1	前期	
外国語コミュニケーション	○英語表現Ⅰ	1	1	前期	
	○英語表現Ⅱ	1	1	後期	
情報機器の操作	○情報リテラシー	2	1	前期	

(ウ) 生命環境学部

○本学の課程における教科に関する科目対応表

・中学校理科(生命科学科) (平成29・30年度入学生用)

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
物理学	○物理学Ⅰ ○物理学Ⅱ	2 2	1 1	前期 後期	
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○物理学実験	1	2	後期	
化学	○化学 化学演習 有機化学 無機化学 基礎分析化学 生物化学 生物資源化学	2 1 2 2 2 2 2	1 1 2 2 1 2 3	前期 後期 前期 前期 後期 前期 前期	
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○化学実験	1	1	後期	
生物学	○生態学 ○遺伝学 ○生理学 ○細胞工学 植物組織培養学 ○免疫学 資源植物学 ○基礎植物生理学 ○分子進化発生学 ○発生学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 2 2 3 2 2 2 2 3	前期 後期 前期 後期 前期 後期 後期 前期 前期 前期	
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○生物学実験	1	1	後期	
地学	○地学	2	1	後期	
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○地学実験	1	2	前期	

※計20単位以上を修得すること。

・中学校理科(生命科学科) (平成27・28年度入学生用)

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
物理学	○物理学Ⅰ 物理学Ⅱ 物理学演習	2 2 1	1 1 1	前期 後期 後期	
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○物理学実験	1	2	後期	
化学	○化学 化学演習 有機化学 無機化学 基礎分析化学 生物化学 生物資源化学	2 1 2 2 2 2 2	1 1 2 2 1 2 3	前期 後期 前期 前期 後期 前期 前期	
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○化学実験	1	1	後期	
生物学	○生物学Ⅰ 生物学Ⅱ 生物学演習 微生物学 分子生物学 細胞工学 植物組織培養学 資源植物学 基礎植物生理学	2 2 1 2 2 2 2 2 2	1 1 1 2 2 2 3 2 2	前期 後期 後期 前期 後期 後期 前期 後期 前期	
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○生物学実験	1	1	後期	
地学	○地球科学	2	1	後期	
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○地学実験	1	2	前期	

※計20単位以上を修得すること。

・高等学校理科(生命科学科) (平成29・30年度入学生用)

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
物理学	○物理学Ⅰ ○物理学Ⅱ	2 2	1 1	前期 後期	
化学	○化学 化学演習 有機化学 無機化学 基礎分析化学 生物化学 生物資源化学	2 1 2 2 2 2 2	1 1 2 2 1 2 3	前期 後期 前期 前期 後期 前期 前期	
生物学	○生態学 ○遺伝学 ○生理学 ○細胞工学 植物組織培養学 ○免疫学 資源植物学 ○基礎植物生理学 ○分子進化発生学 ○発生学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 1 2 2 3 2 2 2 2 3	前期 後期 前期 後期 前期 後期 後期 前期 前期 前期	
地学	○地学	2	1	後期	
「物理学実験 (コンピュータ活用を含む。), 化学実験 (コンピュータ活用を含む。), 生物学実験 (コンピュータ活用を含む。), 地学実験 (コンピュータ活用を含む。)」	物理学実験 ○化学実験 ○生物学実験 地学実験	1 1 1 1	2 1 1 2	後期 後期 後期 前期	

※計20単位以上を修得すること。

・高等学校理科(生命科学科) (平成27・28年度入学生用)

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
物理学	○物理学Ⅰ 物理学Ⅱ 物理学演習	2 2 1	1 1 1	前期 後期 後期	
化学	○化学 化学演習 有機化学 無機化学 基礎分析化学 生物化学 生物資源化学	2 1 2 2 2 2 2	1 1 2 2 1 2 3	前期 後期 前期 前期 後期 前期 前期	
生物学	○生物学Ⅰ 生物学Ⅱ 生物学演習 微生物学 分子生物学 細胞工学 植物組織培養学 資源植物学 基礎植物生理学	2 2 1 2 2 2 2 2 2	1 1 1 2 2 2 3 2 2	前期 後期 後期 前期 後期 後期 前期 後期 前期	
地学	○地球科学	2	1	後期	
「物理学実験 (コンピュータ活用を含む。), 化学実験 (コンピュータ活用を含む。), 生物学実験 (コンピュータ活用を含む。), 地学実験 (コンピュータ活用を含む。)」	物理学実験 ○化学実験 ○生物学実験 地学実験	1 1 1 1	2 1 1 2	後期 後期 後期 前期	

※計20単位以上を修得すること。

・中学校理科(環境科学科)(平成29・30年度入学生用)

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
物理学	○物理学Ⅰ ○物理学Ⅱ 放射線計測学	2 2 2	1 1 3	前期 後期 後期	
物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	○物理学実験	1	2	後期	
化学	○化学 物理化学 環境・無機分析化学 生物地球化学 環境有機化学 機能性物質化学 有機分析化学 触媒化学 固体分析化学 機能材料化学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 2 2 2 2 2 3 3 3 3	前期 前期 後期 後期 後期 前期 前期 後期 後期 前期	
化学実験(コンピュータ活用を含む。)	○化学実験 材料学実験 分析化学実験 水環境工学実験 機器分析化学実験	1 2 2 2 2	1 2 2 3 3	後期 後期 後期 前期 前期	
生物学	○生物学Ⅰ ○生物学Ⅱ 微生物学 生態学 応用微生物学	2 2 2 2 2	1 1 2 2 3	前期 後期 前期 後期 後期	
生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	○生物学実験 微生物学実験	1 2	1 2	後期 後期	
地学	○地学	2	1	後期	
地学実験(コンピュータ活用を含む。)	○地学実験	1	2	前期	

※計20単位以上を修得すること。

・中学校理科(環境科学科)(平成27・28年度入学生用)

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
物理学	○物理学Ⅰ 物理学Ⅱ 物理学演習 放射線計測学	2 2 1 2	1 1 1 3	前期 後期 後期 後期	
物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	○物理学実験	1	2	後期	
化学	○化学 化学演習 有機化学 無機化学 基礎分析化学 生物化学 物理化学 環境無機分析化学 環境有機化学 機能性物質化学 有機分析化学	2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 2 2 1 2 2 2 2 2 3	前期 後期 前期 前期 後期 前期 前期 後期 後期 前期 前期	
化学実験(コンピュータ活用を含む。)	○化学実験 材料学実験 分析化学実験 水環境工学実験 機器分析化学実験	1 2 2 2 2	1 2 2 3 3	後期 後期 後期 前期 前期	
生物学	○生物学Ⅰ 生物学Ⅱ 生物学演習 微生物学 生態学 応用微生物学	2 2 1 2 2 2	1 1 1 2 2 3	前期 後期 後期 前期 後期 後期	
生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	○生物学実験 微生物学実験	1 2	1 2	後期 後期	
地学	○地球科学	2	1	後期	
地学実験(コンピュータ活用を含む。)	○地学実験	1	2	前期	

※計20単位以上を修得すること。

・高等学校理科(環境科学科) (平成29・30年度入学生用)

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
物理学	○物理学Ⅰ	2	1	前期	
	○物理学Ⅱ	2	1	後期	
	放射線計測学	2	3	後期	
化学	○化学	2	1	前期	
	物理化学	2	2	前期	
	環境・無機分析化学	2	2	後期	
	生物地球化学	2	2	後期	
	環境有機化学	2	2	後期	
	機能性物質化学	2	2	前期	
	有機分析化学	2	3	前期	
	触媒化学	2	3	後期	
	固体分析化学	2	3	後期	
機能材料化学	2	3	前期		
生物学	○生物学Ⅰ	2	1	前期	
	○生物学Ⅱ	2	1	後期	
	微生物学	2	2	前期	
	生態学	2	2	後期	
	応用微生物学	2	3	後期	
地学	○地学	2	1	後期	
「物理学実験 (コンピュータ活用を含む。), 化学実験 (コンピュータ活用を含む。), 生物学実験 (コンピュータ活用を含む。), 地学実験 (コンピュータ活用を含む。)」	物理学実験	1	2	後期	
	○化学実験	1	1	後期	
	材料学実験	2	2	後期	
	分析化学実験	2	2	後期	
	水環境工学実験	2	3	前期	
	機器分析化学実験	2	3	前期	
	○生物学実験	1	1	後期	
	微生物学実験	2	2	後期	
	地学実験	1	2	前期	

※計20単位以上を修得すること。

・高等学校理科(環境科学科) (平成27・28年度入学生用)

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	前後期別	
物理学	○物理学Ⅰ	2	1	前期	
	物理学Ⅱ	2	1	後期	
	物理学演習	1	1	後期	
	放射線計測学	2	3	後期	
化学	○化学	2	1	前期	
	化学演習	1	1	後期	
	有機化学	2	2	前期	
	無機化学	2	2	前期	
	基礎分析化学	2	1	後期	
	生物化学	2	2	前期	
	物理化学	2	2	前期	
	環境無機分析化学	2	2	後期	
	環境有機化学	2	2	後期	
	機能性物質化学	2	2	前期	
有機分析化学	2	3	前期		
生物学	○生物学Ⅰ	2	1	前期	
	生物学Ⅱ	2	1	後期	
	生物学演習	1	1	後期	
	微生物学	2	2	前期	
	生態学	2	2	後期	
	応用微生物学	2	3	後期	
地学	○地球科学	2	1	後期	
「物理学実験 (コンピュータ活用を含む。), 化学実験 (コンピュータ活用を含む。), 生物学実験 (コンピュータ活用を含む。), 地学実験 (コンピュータ活用を含む。)」	物理学実験	1	2	後期	
	○化学実験	1	1	後期	
	材料学実験	2	2	後期	
	分析化学実験	2	2	後期	
	水環境工学実験	2	3	前期	
	機器分析化学実験	2	3	前期	
	○生物学実験	1	1	後期	
	微生物学実験	2	2	後期	
	地学実験	1	2	前期	

※計20単位以上を修得すること。

○ 本学の課程における教職に関する科目対応表
 ・平成22～30年度入学生用

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目		配当 年次	前後 期別	備考
科 目	各科目に含める必要事項	授業科目 ○は教免必修科目	単位 数			
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、勤務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	○教職入門	2	1	後期	
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育学概論	2	1	後期	
	・幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	○教育心理学	2	2	前期	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	○教育社会学	2	2	前期	
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	○教育課程論	2	2	後期	
	・各教科の指導法	理科教育法Ⅰ	2	2	後期	
		理科教育法Ⅱ	2	3	前期	
		理科教育法Ⅲ	2	3	後期	
		理科教育法Ⅳ	2	3	後期	
	・道徳の指導法	○道徳教育論	2	3	前期	中学校教免のみ対象
・特別活動の指導法	○特別活動論	2	3	後期		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教育方法学	2	3	後期	
	・生徒指導の理論及び方法	○生徒・進路指導論	2	2	後期	
	・進路指導の理論及び方法					
教育実習	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	○教育相談	2	3	前期	
		○教育実習指導 ○教育実習Ⅰ ○教育実習Ⅱ	1 2 2	4 4 4	通年 通年 通年	中学校教免のみ必修
教職実践演習		○教職実践演習(中・高)	2	4	後期	

- ※ 教育実習関係科目（教育実習指導、教育実習Ⅰ、教育実習Ⅱ、教職実践演習）には履修要件が定められている。要件については、13免許等（2）教育職員免許エ（エ）を参照すること。
 ※ 各教科の指導法は、該当教科について中学一種4単位、高校一種2単位を必修とする。具体的には、中学一種は理科教育法Ⅰ及びⅡ、高校一種は理科教育法Ⅰの単位が必修となる。
 ※ 道徳教育論は、中学一種についてのみ対象の授業科目となる。

○ 本学の課程における教科又は教職に関する科目対応表
 ・平成27～30年度入学生用

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授 業 科 目 ○印は教免必修科目	単位数	配当 年次	前後 期別	
教科又は教職に関する科目	○介護等体験	2	3	通年	中学校教免許のみ必修
	人権論	2	2～4	前期	
	道徳教育論	2	3	前期	

- ※ 道徳教育論は、高校一種についてのみ対象の授業科目となる。

○ 本学の課程における日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション及び情報機器の操作の科目対応表
 ・平成27～30年度入学生用

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備 考
	授 業 科 目 ○印は教免必修科目	単位数	配当 年次	前後 期別	
日本国憲法	○日本国憲法	2	1～4	前期	
体育	○保健体育理論	2	1	後期	
外国語コミュニケーション	○英語表現Ⅰ	1	1	前期	
	○英語表現Ⅱ	1	1	後期	
情報機器の操作	○情報リテラシー	2	1	前期	

(3) 学芸員の資格

本学の人間文化学部国際文化学科で取得できる学芸員資格に必要な授業科目及び単位の修得方法は次のとおりである。学芸員となる資格を有するかどうかは、博物館法（昭和26年法律第285号）第5条第1項第1号を、大学において修得すべき博物館に関する科目の単位は、博物館法施行規則（昭和30年文部省令第24号）第1条を参照すること。

・平成29年度以降入学生

博物館法施行規則に定める科目		左記に対応する開設授業科目		
科目名	単位数	授業科目（○印は必修科目）	単位数	備考
生涯学習概論	2	○生涯学習概論	2	
博物館概論	2	○博物館概論	2	
博物館経営論	2	○博物館経営論	2	
博物館資料論	2	○博物館資料論	2	
博物館資料保存論	2	○博物館資料保存論	2	
博物館展示論	2	○博物館展示論	2	
博物館教育論	2	○博物館教育論	2	
		○教育学概論	2	
博物館情報・メディア論	2	○博物館情報・メディア論	2	
博物館実習	3	○博物館実習	3	
合計	19	合計	21	
その他関連科目		日本文化史論（日本文化史）	2	8単位以上選択必修
		日本文化史論基礎演習	2	
		日本文化史論演習	2	
		日本文化史論特論	2	
		日本地域史論（日本史）	2	
		日本地域史論基礎演習	2	
		日本地域史論演習	2	
		日本地域史論特論	2	
		東アジア文化史論	2	
		英米文化史論	2	
	東アジア比較文化論	2		
	書誌学特論	2		

・平成28年度入学生

博物館法施行規則に定める科目		左記に対応する開設授業科目		
科目名	単位数	授業科目（○印は必修科目）	単位数	備考
生涯学習概論	2	○生涯学習概論	2	
博物館概論	2	○博物館概論	2	
博物館経営論	2	○博物館経営論	2	
博物館資料論	2	○博物館資料論	2	
博物館資料保存論	2	○博物館資料保存論	2	
博物館展示論	2	○博物館展示論	2	
博物館教育論	2	○博物館教育論	2	
		○教育学概論	2	
博物館情報・メディア論	2	○博物館情報・メディア論	2	
博物館実習	3	○博物館実習	3	
合計	19	合計	21	
その他関連科目		日本文化史論（日本文化史）	2	8単位以上選択必修
		日本文化史論基礎演習	2	
		日本文化史論演習	2	
		日本文化史論特論	2	
		日本地域史論（日本史）	2	
		日本地域史論基礎演習	2	
		日本地域史論演習	2	
		日本地域史論特論	2	
		東アジア文化史論	2	
		英米文化史論	2	
	比較文化論	2		

(4) 日本語教員養成課程修了証書

本学の人間文化学部国際文化学科では、次に示す科目を修得すれば、卒業時に「日本語教員養成課程修了証書」が授与される。

・平成30・31年度入学生用

「日本語教育のための教員養成について」 (平成12年3月文化庁・日本語教員の養成に関する 調査研究協力者会議報告)			左記に対応する開設授業科目			
領域	区分		授業科目	開講学年・学期	単位	最低修得単位
社会・文化・地域に関わる領域	社会・文化・地域	世界と日本	*異文化としての日本	2~4・前	2	4
		異文化接触	国際教育協力論	2・前	2	
			比較社会論	1・前	2	
		日本語教育の歴史と社会	◎日本語教育学	2・前	2	
	言語と社会	言語と社会の関係	社会言語学	3・前	2	4
		言語使用と社会	地域情報発信論	2~4・前	2	
		異文化コミュニケーションと社会	*文化人類学	1~4・前	2	
			米国社会文化論	2・前	2	
			英国社会文化論	2・後	2	
			東アジア社会文化論	2・前	2	
教育に関わる領域	言語と心理	言語理解の過程	人間心理論	2・後	2	4
		言語習得・発達	英語表現論	2・後	2	
		異文化理解と心理	●教育学	2・前	2	
	言語と教育	言語教育法・実習	*教育学	1~4・後	2	6
			◎日本語教授法	2・後	2	
		◎日本語教育実習	3・前	2		
		異文化間教育・コミュニケーション教育	日本語・日本事情	2・前	2	
			*留学生と学ぶ広島	1~4・後	2	
言語教育と情報	*情報リテラシー	1・前	2			
言語に関わる領域	言語	言語の構造一般	言語学	1・後	2	12
		日本語の構造	◎日本語文化論(日本語学)	2・後	2	
			日本語文化論基礎演習	3・前	2	
			日本語文化論演習	3・後	2	
			日本語文化論特論A	2・前	2	
			◎日本語文化論特論B(日本語音声学)	2・後	2	
		言語研究	中日対照言語学	2・前	2	
			英語音声学特論	2・前	2	
		コミュニケーション能力	*日本語表現	1~4・前	2	
			ディベート・プレゼンテーション	3・前	2	
合計				56	30	30

※ ◎印は必修科目

※ *印は全学共通教育科目, ●印は教職科目(国際文化卒業要件124単位外)

※ 開講学年, 学期については年度により変動があり得るので注意すること。

・平成29年度入学生用

「日本語教育のための教員養成について」 (平成12年3月文化庁・日本語教員の養成に関する 調査研究協力者会議報告)			左記に対応する開設授業科目				
領域	区分		授業科目	開講学年・学期	単位	最低修得単位	
社会・文化・地域に関わる領域	社会・文化・地域	世界と日本	*異文化としての日本	2~4・前	2	4	
		異文化接触	国際教育協力論	2・前	2		
			比較社会論	1・前	2		
	言語と社会	日本語教育の歴史と社会		◎日本語教育学	2・前	2	4
		言語と社会の関係		社会言語学	3・前	2	
		言語使用と社会		地域情報発信論	2~4・前	2	
		異文化コミュニケーションと社会		*文化人類学	1~3・前	2	
				米国社会文化論	2・前	2	
英国社会文化論	2・後			2			
教育に関わる領域	言語と心理	言語理解の過程	英語表現論	2・後	2	4	
		言語習得・発達	●教育心理学	2・前	2		
		異文化理解と心理	人間関係論	1・後	2		
	言語と教育	言語教育法・実習		*教育学	1~3・後	2	6
				◎日本語教授法	2・後	2	
		異文化間教育・コミュニケーション教育		◎日本語教育実習	3・前	2	
				日本語・日本事情	2・前	2	
				*留学生と学ぶ広島	1~4・後	2	
言語教育と情報		*情報リテラシー	1・前	2			
言語に関わる領域	言語	言語の構造一般	言語学	1・後	2	12	
		日本語の構造	◎日本語文化論(日本語学)	2・後	2		
			日本語文化論基礎演習	3・前	2		
			日本語文化論演習	3・後	2		
			日本語文化論特論A	2・前	2		
			◎日本語文化論特論B(日本語音声学)	2・後	2		
		言語研究	中日対照言語学	2・前	2		
	英語音声学特論		2・前	2			
	コミュニケーション能力		*日本語表現	1~3・前	2		
			ディベート・プレゼンテーション	3・前	2		
合計					56	30	30

※ ◎印は必修科目

※ *印は全学共通教育科目、●印は教職科目(国際文化卒業要件124単位外)

※ 開講学年、学期については年度により変動があり得るので注意すること。

・平成28年度入学生用

「日本語教育のための教員養成について」 (平成12年3月文化庁・日本語教員の養成に関する 調査研究協力者会議報告)			左記に対応する開設授業科目									
領域	区分		授業科目	開講学年・学期	単位	最低修得単位						
社会・文化・地域に関わる領域	社会・文化・地域	世界と日本	*異文化としての日本	2・前	2	4						
		異文化接触	国際協力論	2・前	2							
		比較社会論	1・前	2								
	言語と社会	日本語教育の歴史と社会	◎日本語教育学	2・前	2	4						
		言語と社会の関係	社会言語学	3・前	2							
		言語使用と社会	マスコミ・ジャーナリズム論	1・後	2							
教育に関わる領域	言語と心理	異文化コミュニケーションと社会	*文化人類学	1・2・前	2	30						
		異文化コミュニケーション論	2・前	2								
		言語理解の過程	英語表現論	2・後	2							
	言語と教育	言語習得・発達	●教育心理学	2・前	2							
		異文化理解と心理	人間関係論	1・後	2							
		言語教育法・実習	*教育学	1・2・後	2							
		◎日本語教授法	2・後	2								
		◎日本語教育実習	3・前	2								
言語に関わる領域	言語	異文化間教育・コミュニケーション教育	日本語・日本事情	2・前	2							
		コミュニケーション教育	*留学生と学ぶ広島	1・2・後	2							
		言語教育と情報	*情報リテラシー	1・前	2							
		日本語の構造	言語の構造一般	言語学	1・後	2						
			◎日本語文化論(日本語学)	2・後	2							
			日本語文化論基礎演習	3・前	2							
	日本語文化論演習		3・後	2								
	日本語文化論特論A		2・前	2								
	コミュニケーション能力	◎日本語文化論特論B	2・後	2								
		対照言語学	2・前	2								
		英語文化論特論(英語音声学)	2・前	2								
	合計					56	30					
									2			
											1・後	2
		3・前	2									

※ ◎印は必修科目

※ *印は全学共通教育科目, ●印は教職科目(国際文化卒業要件124単位外)

※ 開講学年, 学期については年度により変動があり得るので注意すること。